



カタカタ通信

第235号

2026年6月29日

「巣立ち後も、日々成長中！」

ヒナがうまれて70日齢を超えた6月13日と16日に1羽ずつ、巣立ちを確認しました！前回のカタカタ通信でもお伝えしたとおり、足環緑（仮名：「ミドリ」）は巣立ち前に“巣落ち”を経験していたからか、巣立ち直後も落ち着いた様子で、マイペースに過ごしていました。



巣立ち当日、上手に水を飲むアオ

一方、落ちることなく巣立ちを迎えた足環青（仮名：「アオ」）。こちらは巣台にいた頃から、ミドリよりも座っている時間が目立ち、やや控えめな印象でした。巣立ち直後は、そわそわと落ち着かない様子で、飼育係が清掃に入るとピンと張りつめた緊張が伝わってくるほどでした。

飛ぶ力については、飛び方のコントロールや判断力はまだまだです。作業中の少しの動きでも、驚いてケージやガラスに衝突してしまう恐れがあるので、こちらも慎重に、プレッシャーを与えないよう注意しながら作業していきます。

巣立ち前のヒナたちは、清掃に入るとすぐに親の足元に座り込んで守ってもらっていました。毎日の作業も音は聞いていても、実は直接見たことはなかったのかもしれませんが。巣立ちから5日ほど経ち、アオにも周りを観察す



親が警戒モードだと、すぐ座っていたヒナ

る余裕が出てきたのか、人と距離を取る動きにも少しずつ慣れてきたようで、飼育係もひと安心です。

日中はヒナ同士の距離がやや近く、2羽で順番に水浴びをしてみたり、止まり木と一緒に止まってみたり、何かを追いかけては低空飛行しあってみたり…。いろいろなことに興味津々で、空と花とはまた違う動きを見せてくれます。まだ若者らしいこんな姿を見られるのも今だけ。ゆっくり観察してみてくださいね。



追いかっこ？



お風呂な水浴び(ミドリ)と羽繕い(アオ)



突然始まる低空飛行(ミドリ)

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：寺内